

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブルハウスまゆみ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年12月13日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<input type="checkbox"/> 子ども園と施設を共有しているため、広い園庭・大型遊具やお遊戯室、近隣の自然散策など、恵まれた環境の中で、子ども園児と共に過ごすことができる。	<input type="checkbox"/> 事業所の職員と子ども園の職員間での情報共有や合同のモニタリング会議が実施。	<input type="checkbox"/> 事例検討会の実施
2	<input type="checkbox"/> 療育整体師との繋がりを持ち、事業所単体での療育全体体験会や個別の整体が実施できる。	<input type="checkbox"/> 家庭でのセルフケアの提案	<input type="checkbox"/> より多くの利用児・保護者に参加してもらえよう発信していく
3	<input type="checkbox"/> 機能訓練職員(作業療法士・臨床心理士・柔道整復師)による個別のトレーニングが実施されている。WISC-VやNCプロگرام等の標準化されたアセスメントも可能。	<input type="checkbox"/> 検査結果を支援へ生かすことができる。 <input type="checkbox"/> 個別支援計画への反映。	<input type="checkbox"/> 専門性を高めるための、研修等への参加

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<input type="checkbox"/> 事業所での、きょうだい児の支援・交流の機会が持てていない。	<input type="checkbox"/> 実態として、きょうだい児に関する相談事例が無いため、活動の機会を設けることをしていないが、子ども園行事への参加方法を検討する。	<input type="checkbox"/> 併設されている子ども園の行事の知らせや子育て支援センターの利用方法などを知らせていきたい。
2	<input type="checkbox"/> HPを活用し、情報を発信しているが、周知されていないことがある。	<input type="checkbox"/> 保護者とは、個人の連絡帳やメールで十分やり取りができているが、HPによる情報発信も行っていることの共有ができていなかった。	<input type="checkbox"/> HPも見てもらえよう、情報を発信し、保護者に知らせていく
3	<input type="checkbox"/> 状況によって、人手不足を感じる。利用希望者の増加により、お断りせざるを得ない状況がある。	<input type="checkbox"/> 配置基準は満たしているが、個別の対応に追われることもある。	<input type="checkbox"/> 人材の確保。 <input type="checkbox"/> 求人募集を行っていく。